

令和 8 年度

第 1 回 磐田市文化財保護審議会 報告

- 1 日時 令和 8 年 7 月 10 日(金) 14:30～16:00
- 2 場所 磐田市埋蔵文化財センター 2 階 研修室
- 3 出席者 磐田市文化財保護審議会委員 10 名
中山正典会長 加藤理文副会長 増田千次郎委員
土屋和男委員 杉山知太郎委員 坪井俊三委員
西田かほる委員 佐口節司委員 小杉達委員
堤 真一委員
事務局 7 名
伊藤スポーツ文化観光部長
室内文化財課長・谷野文化財課長補佐・谷口調査 G 長
石津歴史文書館館長・渡邊主査・森本主事
- 4 傍聴人 なし
- 5 議事
 - 1 開会
 - 2 スポーツ文化観光部長あいさつ
 - 3 会長あいさつ
 - 4 審議事項
 - ①兜塚古墳出土資料の市指定について
〔事務局からの説明〕
 - ・ 兜塚古墳は磐田市兜塚公園内に位置する古墳時代中期前葉の古墳。
 - ・ 静岡県最大の円墳であることは分かっていたが、令和 2・5・6 年度に実施した測量調査により東海地方最大級の円墳であることが今回、明らかとなった。
 - ・ 指定対象は令和 7 年度刊行の総合調査報告書に掲載している出土資料 66 点で、いずれも市が保管。
 - ・ 鏡、玉類、鉄刀は太平洋戦争中の昭和 19 年に対空陣地用の塹壕掘削にともない出土。
 - ・ 埴輪類は、確認調査や表採により見つかった。
〔主な質問・意見〕
 - 【中山会長】 昭和19年の出土状況に関する記録類はあるのか
→当時の文部省考古担当（現在の文化庁美術工芸課）が来たという記録があるが、それ以外に詳細な記録は不明。
 - 【佐口委員】 地域の貴重な資料と考えているので、指定してよい。
 - 【加藤委員】 報告書掲載の出土品を一括で指定。
 - ・ 兜塚古墳出土資料を磐田市指定有形文化財（考古学）に指定する答申

書が提出された。

5 報告事項

①特別史跡遠江国分寺跡整備工事の進捗状況について

- ・整備事業は令和 11 年度の完成を目指しており、完成後には整備報告書を作成する予定。
- ・令和 7 年度から中門・回廊周辺の整備を継続して進めている。
- ・講堂、僧房周辺の園路・サイン・照明・植栽の整備、木製燈籠製作、四阿 3 基の新築工事を令和 8 年度に進める予定。
- ・木製燈籠は 3 年かけて製作する計画で、今年は材料調達を計画している。

②国指定史跡新豊院山古墳群の斜面保護対策について

- ・国と県の補助金を活用しながら令和 7・8 年度の 2 ヶ年かけて工事を行う計画で、令和 8 年度施行区間で斜面保護対策は終了する予定。

③国登録有形文化財（建造物）登録候補について

- ・文化庁調査官が登録候補の建造物 4 件を現地調査した。
- ・いずれの建造物も登録候補として評価できると回答を得られた。

④旧赤松家にかかる指定文化財(建造物)の補強・修繕について

- ・県指定文化財「旧赤松家門・塀」と市指定文化財「旧赤松家塀・土蔵」の緊急修繕を行った。

⑤文化財啓発事業等実績について

- ・令和 8 年 4 月から令和 8 年 6 月までの普及啓発活動実績と事業予定を報告。

⑥文化財調査実績について

- ・令和 8 年 4 月から令和 8 年 6 月までに実施した有形・無形・埋蔵文化財調査実績を報告。

6 閉会